

学修成果について

学修成果とは、教育課程における授業科目、教育プログラムなど所定の学習期間終了時に学習者が獲得すると期待される知識や技術、態度などの効果を言う。

学修成果の実施は、社会の発展を支える人材を育成するという社会的使命を十分に果たす上で、その基盤となる短期大学士課程教育において学生が身につけるべき学修成果を明確に示すとともに、学修成果の達成を目指した教育内容・方法の充実改善を図ることを目的としている。

各学科・専攻のディプロマ・ポリシーに基づいて評価規準を定め、科目ごとに学生に身につけさせたい知識、能力、スキル、態度・志向性などを学修成果としてカリキュラムマップに定めている。

(1)履修にあたって

学科・専攻のカリキュラムマップ、履修系統図およびシラバスにより評価指標、到達目標を確認して履修すること。

(2)学修成果評価と成績およびアセスメント（査定）

学修成果の評価は、学修成果の到達度をルーブリック評価法を取り入れて行う。その評価方法は、シラバスに記載してあるとおりであるが、詳細は教科担当者から第1回目の授業時に説明を受ける。「獲得できたか」「身についたか」の評価結果が成績に反映する。アセスメント（査定）は、科目ごとに担当者が行う。

(3)学生自身による自己評価

学生自身による自己評価は、キャリア教育プログラムの一環としておこない、その結果と教員による学修成果評価結果とを参考にして学修の成果を振り返り、キャリアシートへまとめる。

